

全日本少年フットサル県大会第11節 SJFSCが初優勝＝静岡

スポーツ報知2011.09.19スポーツ報知24頁写真(全879字)

◇バーモントカップ第21回全日本少年フットサル県大会第11節(18日・エコパアリーナ)

創部9年目のSJFSC・PIVOが初優勝を飾り、全国大会出場を決めた。決勝でFCアスルクラロ沼津Aと対戦。酒井駿吾主将(6年)が後半8分に決めて延長に持ち込み、同後半1分にも再び酒井が決勝点を奪い競り勝った。全国は来年1月4日、東京・駒沢体育館で開幕する。

▽決勝

SJFSC・PIVO 4(1—1、1—1延長0—0、2—0)2 FCアスルクラロ沼津

◆酒井2ゴール !

終了の笛と同時に、SJFSCの選手の歓声がアリーナに響き渡った。残り2分で同点に追い付き延長勝ち。創部9年目で手にした初Vに、監督は「一昨年はベスト4で去年はベスト8。よく追いついてくれたし本当にうれしいです」と感無量の表情で選手をたたえた。

フットサル好きが集結した“専門クラブ”の意地を見せつけた。要所での2ゴールでVに導いた酒井主将は「相手は普通のサッカーチーム。負けるわけにはいかないと、頑張れた」と胸を張り、「この日に合わせて練習や遠征もしてきた。その成果が出ました」と笑顔で初Vをかみしめた。

全国に向けて、酒井主将は「まだミスが多過ぎる。修正して全国でも優勝できるチームを目指します」と初の大舞台でも金メダルを狙いに行く。(芹沢貴之)

▼得点者【S】佐藤、酒井2、増田【F】滝、吉田

◆後半勝ち越しも

[FCアスルクラロ沼津A]後半1分、吉田峻主将(6年)がGKの頭上を越える浮き球シュートで2—1と勝ち越したが、延長戦で屈した。吉田は「最後に集中が切れたけど、試合は楽しかった。次のNTTカップで優勝を狙います」と再出発を誓った。

【決勝トーナメント】

▽1回戦

FCアスルクラロ沼津A3—2SENA. FCSOUTH

ピュアFC2—1 静岡城内FC

SJFSC・PIVO3—1 アポローズFC—A

浜松蒲SSS3—0LIBERO FC—A

▽準決勝

FCアスルクラロ沼津A 5—3 ピュアFC

SJFSC・PIVO 5—2 浜松蒲SSS

創部9年目の初Vに喜ぶSJFSCの選手